

## 穂高屏風岩・雲稜ルート 山行報告

(山城) 北アルプス南部

(コース) 屏風岩・雲稜ルート

(日時) 2017年10月10日～12日

(天候) 晴れ

(参加者) 松原 会員外

(山行タイム)

10月9日…21:00 千葉出発～24:30 道の駅風穴の里～仮眠

10月10日…6:00 道の駅風穴の里出発～6:30 沢渡駐車場～7:45 上高地バスターミナル～10:40 横尾 12:10～13:30 T4 尾根取付き～15:20 横尾～幕営

10月11日…2:30 起床～3:30 横尾出発～4:30 T4 尾根取付き 5:45～7:00 T4～7:30 雲稜ルート 登攀開始～11:30 登攀終了～懸垂下降～12:15 T4～13:00 T4 尾根取付き～14:30 横尾～幕営

10月12日…8:00 上高地バスターミナル～8:30 沢渡駐車場～帰葉

(山行報告)

初めての穂高屏風岩、10月は時期遅れでさぞ寒いだろうと覚悟していきましたが、想定外の夏日。天気予報では微妙な予報でしたが、実際は3日間とも好天で、日中は半袖でも暑いほどでした。

10月9日(月)

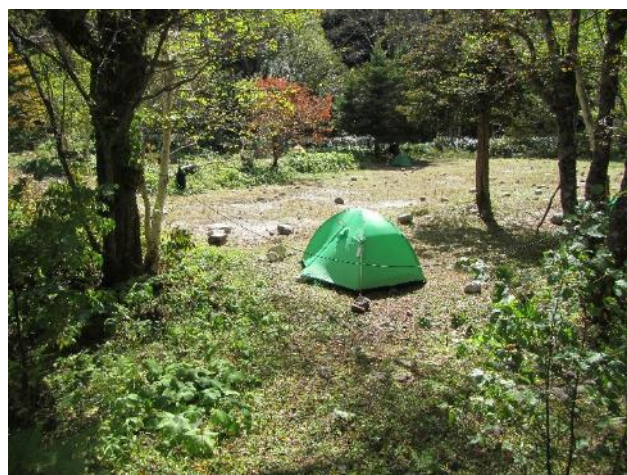
20:30 頃に津田沼駅付近で M 崎さんと合流、計画では沢渡駐車場で仮眠の予定でしたが、手前にある道の駅風穴の里で仮眠。仮眠の前にステーキとシシャモで前夜祭。

10月10日(火)

6:00 起床。すぐに沢渡に向けて出発。6:30 頃に沢渡駐車場に到着。朝食をとりつつ身支度を整えて、7:00 頃にバスに乗車。上高地に着いてからまた身支度を整え 7:45 頃に横尾へ向けて歩きはじめる。



上高地バスターミナル



横尾にてテント設営

河童橋、明神館、徳沢、10：40 横尾に到着。

12：10 テントを設営してから屏風岩の取付きまで偵察へ出発。明日の登攀で使う道具はこの日のうちに担ぎ上げ、取付きにデポしておく予定。

12：30 岩小屋跡に到着。昔は岩小屋として使えたらしいが、今は埋まってしまって使用不可。ここから一般道を外れて屏風岩へ。今回のアプローチで核心の渡渉はすぐそこ。多くの記録にあるように、一度渡渉した後に中州を経てもう一度渡渉することになる。本日二度目の渡渉。水量は少ないようだが、良い渡渉点が見つからず、靴を脱いで膝上まで浸かりながらの渡渉。これも多くの記録にあるが、水が冷たくて辛い、痛い。バランスを崩して転ばないように慎重に渡る。無事に渡るとあとは涸れ沢を登りつめるだけ。一本道でわかりやすく迷う心配はない。明日のアプローチはヘッデンなので心配していたが、これなら大丈夫。途中でソロのおじちゃんとは行き違う。雲稜ルートを途中まで登った帰りだとのこと。この日に雲稜ルートには、このおじちゃんの他にもう一人ソロの人が取付いていた。



アプローチの涸れ沢



屏風岩

13：30 T4 尾根取付きに到着。T4 尾根の取付きを確認し、登攀具等を防水バックに入れてフィックスロープに固定し、横尾へ向けて下降開始。途中に屏風岩を見上げると、ソロのクライマーを発見。しばらく眺める。沢に戻ってから、石を沢に投げ入れて渡渉路を作ろうとするも、無理、あきらめる。

15：20 横尾に到着。テントに戻っておつまみのエビを焼きつつ、晩ご飯の鳥豆乳鍋を作る。食担は久



登攀具をT4取付きにデポ



豆乳鍋

しぶりだったが、M 崎さんが喜んで食べてくれて嬉しかった。20：00 頃就寝。

10 月 11 日(水)

2：30 頃起床。朝食をとり、身支度を整える。出発前にザックの中の荷物が濡れているのに気づいてチェックすると、飲み水を入れたペットボトルに穴が開いているのを発見。気付いてよかった。別のペットボトルに水を入れ替える。梓川にビールを浸け、3：30 横尾を出発。3：50 岩小屋跡。4：00 渡渉。4：35T4 尾根取付き。夜明けを待ち、5：45T4 尾根登攀開始。その前に登攀順番じゃんけん。私の勝ち。1 ピッチ目は私。T4 尾根はアプローチの範囲内だが、内容は普通のクライミング。3 ピッチ目以降はコンテでもいけるとの記録もあるが、我々はスタカット。悪い部分があるのでスタカットにしてよかった。7：00T4 到着。

身支度を整えていると、また荷物が濡れている。チェックすると、今度はプラティパスに小さな穴を発見。気付いてよかった。詰め替えるボトルはないので、水をがぶ飲みしておく。再度じゃんけん。負けました。核心の 3 ピッチ目を M 崎さんに譲るべく、奇数ピッチは M 崎さん、偶数ピッチは松原。



T 4(雲稜ルート取付き)



1 ピッチ目の M 崎さん

1 P 目…M 崎さんリード。凹角を 50 メートル登る。50m ロープぎりぎり。今回のルートで一番楽しいピッチ。凹角終了後にある小さいテラスでビレイ。

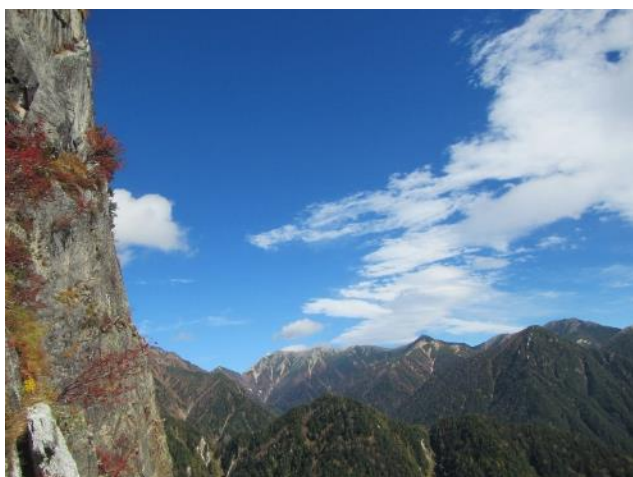
2 P 目…松原リード。ビレイ点からすぐ上にあるピナクル右部から直上。中間支点が取れず、ホールドは悪い。スタートのピナクルからまず直上し、3 メートル程行ってから右上して第 2 のピナクルへ、そこまでが怖い。第 2 のピナクルから左上して扇岩へ。

3 P 目…核心ピッチ。フリーで抜ければ 5.11C。トライしましたが、全く歯が立ちませんでした。ボルトラダーをアブミで超える。

4 P 目…ハング下から右へトラバース。狭くて怖い。右端のテラスで終了。

5 P 目…凹状を左上。ロープいっぱいまでのぼす。リードはビレイ点までたどり着くが、声が届かなくなり苦勞する。大声を出し合って、なんとかビレイ点で合流。11：30 登攀終了。

懸垂下降 1 P 目。松原がまず下降。40 メートルほど降りたところに確保支点を見つけるが、もう少し降りればもっと都合の良い支点があるのではないかと欲が出る。悩んだ結果、下降。50 メートルいっぱいまで下降したところに微妙なハーケン 2 本と RCC1 本を見つけ、ここでピッチを切る。残置の縄は朽



快晴です



終了点にて

ちている。新たに捨て縄を設置する。

懸垂下降 2 P 目。M 崎さんが先に下降。扇岩のテラスに降りてピッチを切る。

懸垂下降 3 P 目。雲稜ルート of 1 ピッチ目終了点まで下降。

懸垂下降 4 P 目。T 4 テラスに到着 12 : 15。ちょっと休憩。横尾でのビールを考えると無駄な摂取は避けたかったが、行動食のカレーご飯を食べる。水分は我慢。水漏れに悩まされましたが、結局登攀開始から横尾まで、水は飲みませんでした。

T 4 尾根も懸垂下降。3 ピッチに分けて下降。13 : 00 T 4 取付きに到着。やっとクライミングシューズから解放されて少し休憩。

朝に登った道を下る。渡渉は M 崎さんが昨日見つけてくれたポイントで渡り返し。だんだん慣れてきてスムーズに渡れる。14 : 30 横尾に到着し、まずビール。出発前に梓川に浸けておいたビールは冷たくておいしい。しばらく川沿いで休んでからテントに戻って食事。今日はキムチ鍋。今日も M 崎さんは大喜びで食べてくれて嬉しい。食事しながら明日の天気を調べると、朝方に雨が降る予報。寝起きに雨の歩行をしたくなかったなので、急遽テントをたたんで小梨平まで歩き、適当にビバークすることにする。



帰りの渡渉



キムチ鍋

17 : 20 横尾を出発。18 : 10 徳沢に到着しソフトとビール。19 : 15 明神館。20 : 10 小梨平。ベンチを見つけて飲みなおし、バスターミナルで 7 : 30 に集合することを約束し、各々適当に寝る。

10月12日(木)

3:00 頃、雨が降ってくる。M 崎さんはきちんとツェルトを張っているが、私は露天のベンチで寝袋と、無防備。屋根を探して周辺を偵察すると良い場所を発見。荷物を運んで再び就寝。7:30 起床。寝坊したので急いでバスターミナルへ向かい、8 時前に M 崎さんと合流。M 崎さんは 6 時頃にはバスターミナルに居たそうで、どうもすみませんでした。

すぐにバスに乗り、8:30 沢渡駐車場へ到着。寄り道しながらゆっくり帰葉しました。